

平成27年度入学試験問題

(社会人特別入試)

小論文

観光産業科学部 産業経営学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

(金子宏、『租税法 (第 19 版)』, 弘文堂, 2014 年, 3 頁・171 頁, 抜粋・一部改変)

- 問 1 わが国に多くの法人が存在している理由として、個人で事業を営むよりも、法人を設立して法人組織で事業を営んだ方が有利な点が多いからであると説明されることがある。その有利な点とはどのようなことであるのか、有利な点を 4 つ挙げて、それらを 400 字以上、600 字以内で説明しなさい。
- 問 2 なぜ、法人税率は比例税率の方が良いと一般的に考えられているのか、あなた自身の考えを 400 字以上、600 字以内で述べなさい。

平成27年度入学試験問題

(社会人特別入試)

小論文

観光産業科学部 産業経営学科

出題の意図

問1は、経営、マーケティングおよび会計の主人公である法人たる企業を、社会人として正確に捉えているか否かを問うものである。

問2は、企業とその利害関係者との関係（例えば、会社と従業員との関係、会社と株主との関係、会社とその協力業者との関係等）を理解しているか否かを問うものであると同時に、グローバルに展開する企業をイメージできるか否かをも問うものである。

問1および問2の回答から、観光産業科学部産業経営学科のアドミッションポリシーである、理論と実践の両面から真実を追求し、社会に貢献するためのキャリア・アップを図る人であるか、という判断ができるとともに、受験者の社会に対する関心も読み取ることができる。